

ともに 前に 1 歩

湯沢市
地域学校協働活動
ニュース

地域と学校がつながり、一緒に子どもを育てていくという

湯沢市の地域学校協働活動の紹介

この事業のねらいは、

地域住民が学校と連携協働することで、
地域の教育力が向上し、地域の活性化につながる意識を高める

地域の将来を担う人材育成になる。また、地域人としての基礎を養う

地域にとってのよさ

- (1) 住民による地域貢献UP →(住民の思いや経験が生き、地域の協力意識が生まれる)
- (2) 地域の活性化UP →(幅広い層の団体等が教育活動に参画し、地域全体の交流が生まれる)
- (3) 地域教育力UP →(子どものために何かをしたいという地域住民の「思い」が芽生える)

児童生徒にとってのよさ

- (1) 児童生徒の自己肯定感UP →(人との交流を通し、児童生徒がほめられる機会)
- (2) 児童生徒のコミュニケーション力UP →(地域の多様な年代との交流)
- (3) 地域の担い手としての意識UP →(地域の交流体験で、児童生徒の地域への理解や愛着)

地域学校協働活動として、7/27に開催した「ゆざわまちづくり未来マルシェ」には市内中学校3校の生徒が参加しました。下記に湯沢南中学校の生徒の感想を紹介します。(上記のねらいと比べてみてください。)

人と関わることや人と話すことが大切だとわかりました。参加して、私の「湯沢の未来図」が明るく充実したものへと大きく変わりました。

「地域の活性化」のためには各種ボランティアに参加したり、イベントに参加したりすることが大切だとわかりました。

たくさんの方と交流してみて、これからも、ボランティアに参加して湯沢の良いところを見つたいです。積極的に声をかけることができ楽しかったです。



たくさんの方と関わり、地域貢献できたという実感がありました。たくさんの方に「ありがとう」と言ってもらって地域貢献はいいことだと思いました。

最初緊張したけど、優しく接してもらい、湯沢の人のよさを再確認できました。もっといろいろなボランティアに参加してみて、いつか湯沢の魅力を他に伝えてゆきたいと思います。

私はコミュニケーション力があまりなく、初対面の人とうまく関われませんでした。でもこの活動を通して、いろんな人と関われる力が身に付きました。前よりうまく話せるようになりました

自分たちの中学校の活動の紹介や、各地域おこしブースの手伝いをしました。

ゆざわまちづくり 未来マルシェ 7月

皆瀬中ではブースを出して皆瀬カレーなどを販売しました。



市内の小学校では、5年生が地域の力を借りて、田んぼの体験をしています。
(写真は雄勝小学校)

社会福祉協議会が主催する「トークフォーカダンス」では、地域住民と中学生が対話交流をしています。(雄勝中)



湯沢北中学校と湯沢東小学校では、小1から中3までの合同避難訓練の後、各種防災教室が開かれ、地域住民も参加しました。

稲川中学校と雄勝中学校では、地域未来塾という活動を行っています。生徒の放課後の学習時間の確保と自学の手伝いを、教員OBが担当して行っています。(写真は稲川中)

稲川小学校と雄勝小学校では、夏休みに、おもしろ学習教室を開きました。



活動や資料についてのご質問は下記までお願いします。また、インスタで活動紹介もしています。
湯沢市地域学校協働本部 地域学校協働活動統括推進員 鎌田 功 73-2163 (生涯学習課内)

